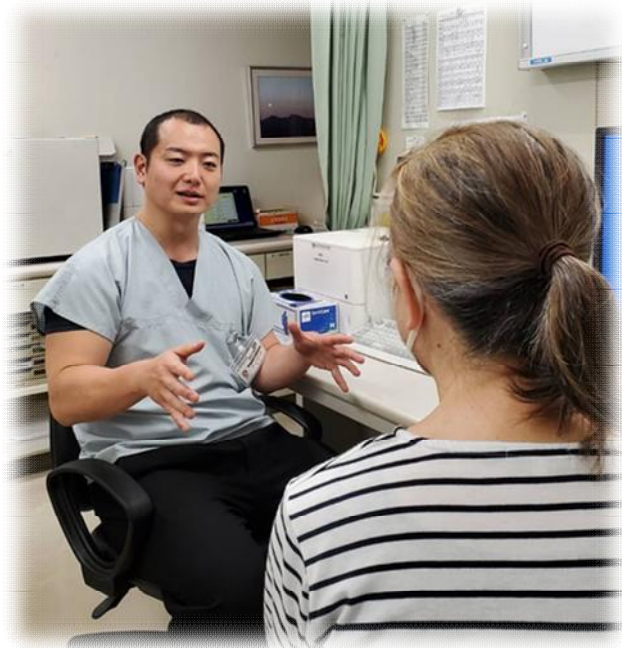




＜感銘を受けた地域の皆さんをご紹介＞

今回は、公立富岡総合病院の外科で救急外来も担当している門脇医師です。去年の納涼祭で、救護担当をしていただき、それがきっかけで門脇さんのお話をお聞きする機会がありました。門脇さんのお話を聴き、お医者さんの仕事について深く目を開かされる思いがしたので、その一部を紹介します。



＜患者さんに説明している門脇医師＞

わずかな時間でも、説明だけでなく「会話」をするよう心がけているそうです。

患者さんとの「会話」がとても大切

門脇さんは患者さんと向き合う時は会話を大切にしているそうです。会話により患者さんを深く知ること、体の状態だけでなく価値観、生活状況、人間関係、人生の歩みなどから、診療のヒントを得ることもあるとのこと。なので、「会話」は心理学的知見を最大限に盛り込み、治療の一環として実践しているようです。

患者さんだけでなくご家族も大事

病気や怪我と闘っているのは、患者さんだけでなくご家族も一緒なのだそうです。特に手術が必要な病気や怪我、末期の患者さんの治療において、ご家族へ説明を行うとそれがよく分かるとのこと。患者さん本人だけでなく、ご家族の納得も非常に重要だというお話でした。

医者は患者さんへ「安心」や「納得」を与えるのが仕事

私たちが病院へ行くときは、誰しも何かしらの『不安』を抱えているものです。そして、お医者さんに診療してもらい、病気やケガが良くなったり、回復の見込みが立ったりすると『安心』します。つまり、『診療は手段』であり『目的は安心』と言えるのではないかと、門脇さんのお話から思いました。

また、門脇さんのお話によると、最期を迎える患者さんとそのご家族に向き合う中で分かったのが、本当に必要なのは『納得』して最期を迎えることだそうです。その話を聞き、突き詰めれば、最期を迎える方だけでなく、すべての患者さんが求めているのは『納得』することで、病気が治って納得する人もいれば、症状が安定して納得する人もいて、皆が『診療』という手段を通じて納得を得ているのだと私は思いました。

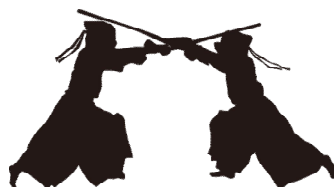
つまり、お医者さんのお仕事は、診療という手段を用いて患者さんに『安心』や『納得』を与えることであり、そこに『会話』を加えることによって、より一層その安心や納得を深めることができるのだ、という大変深いお話でした。」



＜体力維持のため鍛錬している剣道＞

外科の手術は長時間かかる場合もあり、体力勝負です。ちなみに剣道6段だそうです。

裏面に続きます。



手段と目的

門脇さんのお話を聞いて私が感じたのは、「目的」を見失っているのでは？と思うことが世の中には多いということです。お医者さんの例でいうと、「診療という手段」は医学部で習いますが、目的である患者さんへの「安心・納得」を与えるのにとっても有効な「会話という手段」は、着目されていないようです。

皆さんのまわりはいかがでしょうか？今一度、「手段」と「目的」は何か、見直してみたいかがでしょうか？



ご意見受付フォーム はじめました



<ご意見受付フォーム>

このQRコードを
スマートフォンのカメラで
読み込んでください



<https://logoform.jp/f/TOCMM>

住民の皆さんが公民館の企画・運営に携わる仕組みとして、「ご意見受付フォーム」を作ってみました。

いつでもだれでも、スマートフォンから東公民館に意見できますので、お試しください。

公民館でお話していただいてもOK!

<ご意見いただきました>

○ ICT を活用した公民館の広報広聴の取組に、おおいに期待しております。



○ 地域住民の一人として応援したくなりました。

東地区の新しく仲間になった人達を巻き込んでいけたら良いですね



地域の皆さんに情報を伝える手段を募集中

クールシェア はじめました

現 状：回覧板、町内会掲示板、人づてがメイン
問題点：公民館や町内会からのお知らせが地域の皆さんに届いていない感じがする。マンションにお住いの人たちには回覧板が行かない。



ご意見受付フォームから
皆さんの思いついたアイデア送ってください

<7月の休館日>

7/20(月) 海の日

暑い日は公民館へ!

高崎市の公民館は
「ぐんまクールシェアスポット」に
ぐんま**登録しました。☀️
クールシェア

談話コーナーなどをご利用いただけます。
お気軽に職員へお申し出ください。



利用時間 9:00~16:30

高崎市東公民館